

(4) 査読論文発表プログラム

10月30日(土)

第1セッション 9:30-11:00

司会 村上 正浩(工学院大学)

- 9:30 1 復興におけるコミュニティ単位の構造に関する研究 ―岩手県上閉伊郡大槌町町方・吉里吉里地区の復興事業の実践を通して
福島 秀哉(東京大学大学院)
- 9:45 2 東日本大震災復興事業データを用いた陸前高田市中心市街地の事前高台移転による有益性に関する研究
東野 幹久(東北大学)
- 10:00 3 地理的リスクや災害の記憶が長期間未災地域における住民の備えに及ぼす影響:1967年羽越水害を経験した新潟県関川村の事例
門倉 七海(東北大学大学院)
- 10:15 4 消防団員の属性に着目した消防団の持続可能性に関する研究 ―消防団員へのアンケート調査を通じて―
松下 港平(東京理科大学大学院)
- 10:30 5 地震火災時の不完全情報下における最遅避難時刻の不確実性を考慮した避難安全限界時期のリアルタイム判定に関する基礎的検討
鈴木 雄太(建築研究所)
- 10:45 6 災害対応力の向上に向けて災害時遊休民間施設(パチンコ店)のコミュニティ避難拠点空間としての地理的立地特性の考察
金 栽滸(東京大学生産技術研究所)

休憩 11:00-11:15

第2セッション 11:15-12:30

司会 望月 智也(株式会社イー・アール・エス)

- 11:15 7 震災時の都市部における帰宅困難リスクの定量化に関する研究
内田 航(前筑波大学大学院)
- 11:30 8 火山災害対応における認知バイアスを克服するための訓練ツール
今野 裕三(前慶應義塾大学)
- 11:45 9 歩行実験に基づく津波避難誘導標識の設置間隔の検討
小野 天椰(パシフィックコンサルタンツ株式会社)
- 12:00 10 新たな避難所要時間予測手法を用いたリードタイムを有する災害の避難判断支援の検討
川野 浩平(九州大学)
- 12:15 11 空撮・衛星画像と数値解析を用いた東日本台風時の那珂川流域における浸水状況の推定
藤井 希帆(千葉大学)

休憩 12:30-13:45

第3セッション 13:45-15:15

司会 池内 淳子(摂南大学)

- 13:45 12 福岡県東峰村における時空間的な情報統合による災害リスク・コミュニケーション手法の検討
菅原 巧(九州大学)
- 14:00 13 千葉県における令和元年台風15号による地域高齢者の被災状況と災害対応での課題

大塚 理加 (防災科学技術研究所)

- 14:15 14 2011 年紀伊半島大水害の経験を踏まえた公共土木施設災害復旧における現場対応の課題について
太田 和良 (宇都宮大学大学院)
- 14:30 15 地震火災時における住民の対処行動想起を目的とした防災学習の効果
木下 仁視 (東京消防庁)
- 14:45 16 要配慮者の避難支援を主目的とした「災害にも強い地域支え合いマップ」づくりの実践と評価—
広島県三原市久井町の3 地区を対象として—
片野 裕貴 (広島大学)
- 15:00 17 ハザードマップのデザイン性に関する研究—兵庫県下基礎自治体の洪水及び土砂災害ハザードマ
ップを対象として—
前林 明日香 (兵庫県立大学大学院)

休憩 15:15-15:30

第4セッション 15:30-16:45

司会 宇田川 真之 (防災科学技術研究所)

- 15:30 18 避難行動要支援者名簿活用に向けた制度設計・運用プロセスにおける課題に関する研究
藤田 修平 (鹿島建設)
- 15:45 19 災害時における市町村議会議員の活動実態と役割意識に関する研究
杉山 和則 (龍谷大学大学院)
- 16:00 20 関西広域連合によるカウンターパート方式に関する考察
張 勸 (兵庫県立大学)
- 16:15 21 基礎自治体の災害対応における地域内資源の活用のために必要な要素に関する実証的研究—「普
遍化」「越境」「連携」に着目した分析—
寅屋敷 哲也 (ひょうご震災記念21世紀研究機構)
- 16:30 22 被災子育てケア労働軽減のための支援枠組みの検討—平成30年7月豪雨災害における岡山県倉
敷市真備町の事例分析より—
原 耕平 (鳥取県危機管理局)

休憩 16:45-17:00

第5セッション 17:00-18:15

司会 中林 啓修 (国士舘大学)

- 17:00 23 東日本大震災の震災伝承施設の実態把握と効果的な利活用のための提案：来訪者の目的と防災行
動変容への効果に着目して
渡邊 勇 (東北大学大学院)
- 17:15 24 全国で展開される防災教育教材の現状分析 ～学習指導要領との関係性を踏まえた今後の防災教
育のあり方～
池田 真幸 (防災科学技術研究所)
- 17:30 25 米国FEMAにおける事前防災に関する考察—気候変動適応策の選択肢とその条件—
大津山 堅介 (東京大学)
- 17:45 26 構成概念妥当化パラダイムを用いた防災リテラシー尺度の開発
松川 杏寧 (防災科学技術研究所)
- 18:00 27 民間施設を活用した災害時入浴支援の効果推計とその課題の抽出
北川 夏樹 (名古屋大学減災連携研究センター)

終了予定 18:15

10月31日(日)

第6セッション 10:30-11:45

司会 丸山 喜久(千葉大学)

- 10:30 28 川崎市における建物倒壊危険度評価と空き家撤去によるリスク軽減効果
村尾 修(東北大学)
- 10:45 29 BLEビーコンを活用した津波避難訓練行動モニタリングシステムの開発～伊豆市土肥大藪地区におけるスタディ～
田中 義朗(日本工営株式会社/富士山チャレンジプラットフォーム)
- 11:00 30 土石流高さに注目した数値解析に基づく木造家屋の倒壊危険度評価
三浦 弘之(広島大学)
- 11:15 31 旧耐震基準の住宅棟数減少と南海トラフ地震における災害廃棄物低減量に関する検討
平山 修久(名古屋大学)
- 11:30 32 緊急輸送道路を補完する道路ネットワークの設定方法に関する研究
土屋 哲(高知工科大学)

休憩 11:45-14:15

第7セッション 14:15-15:30

司会 竹谷 修一(国土技術政策総合研究所)

- 14:15 33 地域企業の新型コロナウイルス感染症に対する事業継続対策の考察～宮城県内企業を中心に～
丸谷 浩明(東北大学)
- 14:30 34 新型コロナウイルス感染症流行に対する近畿圏内上場企業の対応実態に関する調査報告
紅谷 昇平(兵庫県立大学)
- 14:45 35 郊外丘陵住宅地を対象とした土砂災害リスク適応型防災ワークショップに関する研究—八王子市K地区でのケーススタディ—
市古 太郎(東京都立大学)
- 15:00 36 地震火災に対する広域避難対策に関する研究—出勤時間帯を対象とした避難場所の収容能力の評価—
水野 雅之(東京理科大学)
- 15:15 37 災害対応プロセスを通じた災害時のマネジメント業務に対する被災経験基礎自治体職員と災害マネジメント総括支援員等の比較分析—平成30年7月豪雨から令和元年東日本台風までの災害を対象として—
藤原 宏之(伊勢市役所)

休憩 15:30-15:45

第8セッション 15:45-17:15

司会 小林 秀行(明治大学)

- 15:45 38 災害とともに生きる文化に関する態度尺度の初期検討:「災害共生文化態度尺度」の開発に向けた適用分析と検証
佐藤 翔輔(東北大学)
- 16:00 39 豪雨災害被災地における子育て支援に関する研究—子育てをめぐる労働配分に着目して—
阪本 真由美(兵庫県立大学)
- 16:15 40 災害リスク・コミュニケーション・ワークショップは防災リテラシーを高めたか—傾向スコア分析による効果検証—
藤本 慎(同志社大学)
- 16:30 41 インクルージョン・マネージャーに特徴的なコンピテンシーの考察～データ対話型理論を用いた

分析～

辻岡 綾 (同志社大学)

16:45 42 組織間連携を目的とした防災研修プログラムの開発プロセスと枠組みに関する考察
荒木 裕子 (名古屋大学減災連携研究センター)

17:00 43 地域防災活動のファシリテーションにおける「形」の提案
李 泰榮 (防災科学技術研究所)

17:15-17:25 論文奨励賞発表

17:25-17:35 閉会式